

東芝三菱電機産業システム株式会社

業界初の100%出資のエンジニアリング会社が営業開始
中国における製造業プラント向け電機設備事業の新会社設立について

東芝三菱電機産業システム株式会社(社長:松山 功武)は、成長著しい中国での製造業プラント向け電機設備事業のさらなる競争力強化を図るため、産業システム事業分野では日本の電機業界初^{注1}の100%出資のエンジニアリング会社を設立し、今月より業務を開始します。

注1:2004年度版日本電機工業会会員企業海外法人一覧による

【 設立の背景 】

当社は、中国において製造業プラント向けの電機設備事業を営んでおり、鉄鋼向けを中心に現在までに多くの納入実績を有しておりますが、これらは殆ど日本から中国への輸出という形で納入してまいりました。

一方、中国市場での今後の事業展開のためには、人民元での契約、エンジニアリング業務とサービス業務の現地化等、販売から納入後のアフターサービスまで一貫してソリューションを提供できる現地体制の構築が急務となっております。

新会社は、これまで日本で培ってきたエンジニアリング機能の現地化により、顧客のニーズ、中国市場の状況に応じた事業展開力並びに製品競争力の強化を図り、高品質のシステム製品とトータルソリューションを提供します。特に、中国で工場建設を計画している顧客に、当社と中国新会社の連携により計画段階からアフターサービスまで一貫して対応できる体制を目指します。

【 設立の目的 】

1. 販売から納入後のアフターサービスまでの現地一貫体制の構築
2. 中国国内のリソースの活用による競争力強化

新会社の概要

会社名	東芝三菱電機工業系統(北京)有限公司 TOSHIBA MITSUBISHI-ELECTRIC INDUSTRIAL SYSTEMS(BEIJING) Corp.
営業開始	2004年10月18日
資本金	3,000,000 USD
出資比率	東芝三菱電機産業システム(株)100%
本社	北京市海淀区学清路8号科技財富中心A座7樓
代表者	董事長 伍香 秀明(東芝三菱電機産業システム(株) 取締役副社長) 總經理 謝 稼瑤
従業員	40名
事業内容	製造業プラント向け電機設備の販売とエンジニアリング ・電機設備の計画とシステム設計 ・ソフトウェアの設計・製造・試験を含むシステム構築 ・据付・調整指導、及び試験 ・アフターサービス
売上目標	10億円(初年度<2005年>計画)